

43419

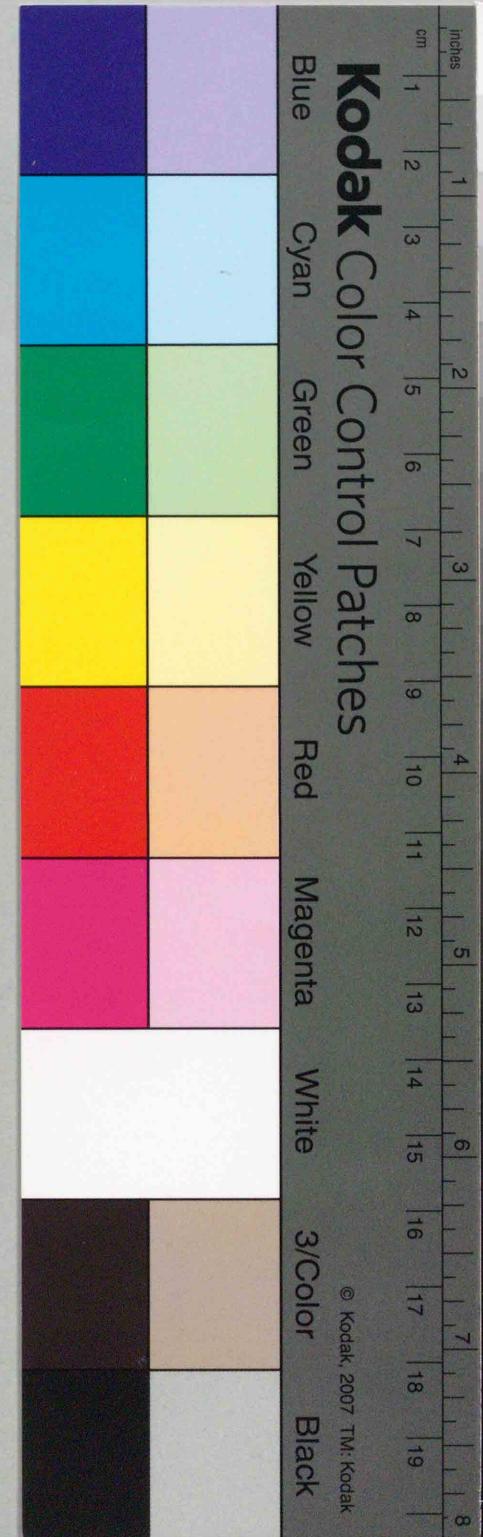
教科書文庫

4
290
31-1910
20000
15937

Kodak Gray Scale
C
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



教科書文庫
4
290
31-1910
2000015937

寶文館編輯所編纂

尋常樺太滿洲朝鮮地理

附 外國地理大要

東京

寶文館藏版

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

中央図書館
資料室

3759
H02

廣島大學圖書



広島大学図書

2000015937



凡例

一、本書は、尋常小學校第六學年の地理の補充として編纂したるもので、主として、兒童の自修用、且つ、筆記帖代用とならしめ、かねて、教授者、教授の標準とならしめんとしたものである。

一、本書は、兒童の自修用を主目的として、文章を口語體となし、読み難き文字には、振假名を施したから、家庭に於ける自修、及、復習用として、兒童が読むに、少しも困難はないと信する。又、假名遣は、舊來の慣用に據つてあるから、法令に抵觸することもない。

一、外國地理大要を附錄としたのは、教授時間の都合で、其の取捨を教授者に一任したのである。

一、本書の教師用としては、弊館發行の萬福直清著『韓外國地理教授新案』があるから、参考せられんことを望む。

明治四十二年八月

編者しるす

教科書文庫
4
290
31-1910
2000015937

目 次

第一 樺 太	一
第二 朝 鮮	一四
第三 滿 洲	二三
附錄 外國地理大要	
第一 亞細亞洲	一九
第二 歐羅巴洲	三三
第三 北亞米利加洲	三六
第四 南亞米利加洲	三九
第五 大洋洲	四一



尋常 樺太滿洲朝鮮地理 附外國地理大要

第一 樺 太

位置
面積

樺太は、北海道本島の北にあつて、オホーツク海の西に、南北に横たはつた一大島である。其の形は、細長い魚に似てゐる。南は宗谷海峡で、北海道本島の宗谷岬とは、三十里をへだててゐる。西は問宮海峡で、亞細亞露西亞の沿海州との距離は、僅に四海里である。この島の南北の長さは、凡そ二百六十里で、東西は、廣いところが四十里、狭いところが、七里で、面積は、凡そ四千九百方里であつて、北海道本島よりも、少し狭い。

沿革

樺太の四近に對する位置



此の島は、もと、我が領地であつたが、徳川時代になつて、我が日本人も、露國人も、ここに来て雜居する様になり、そして、日本と露國との間に、境界問題が起つた。この問題は、久しく決しなかつたが、明治八年五月になつて、この樺太と千島の北部との交換をした。それから、露國は樺太に、罪人をやつて開拓したのである。しかるに、明治三十七八年戦役になつて、我が軍は、この島を攻めて、

占領し、媾和談判の結果、北緯五十度以南の地は、再び、我が領地になつた。

露西亞領と日本領との境には、四つの大なる石を立てて、境界の標としてある。我が領地の面積は、二千二百方里で、九州、又は、臺灣よりも、少しく狭い位である。

樺太には、二條の山脈がある。その一は南端の西能登呂

積日本領の面

西樺太山脈

樺太全島の山脈及び河流の趨勢を示す地圖



岬から起つて、西海岸に沿ふて北に走りたるもので、これが西樺太山脈である。この山脈中で、高い山は、露領内のリヤマルチニール山と、我が領内の野田寒岳、留多加岳とである。他の一は、東にありて、東樺太山脈と稱するもので、南北の一部に別れて居る。南部にあるものは、鈴谷山脈で、これが東南にのびて、中知床半島の脊骨となつて居る。北部にあるものは、東北山脈と稱へて、北方露領から來りて、南方我が領地内にひろがり、東南に向つて、一の支脈が出て、北知床岬と海豹島とをなしてゐる。

東西の兩山脈は、海岸に近く聳えてゐるから、東西の海岸には、廣い平野はない。けれども、この兩山脈の間には、かなり廣い平野が二つある。その一つの平野は、東北山脈と西

平野

(東北山脈)
(鈴谷山脈)

東樺太山脈

樺太山脈との間にあつて、幌内川とツイミ川とが流れてゐる。幌内川は、露領から南に流れて多來加灣に注ぐので、この川の流れる平野を幌内平原と名づける。幌内河口の東には、一條の砂地で、外海とへだてたる樺太第一の多來加湖がある。今一つの平野は、西樺太山脈と鈴谷山脈との間にあるもので、内鈴川と鈴谷川とが流れてゐる。山地には、落葉松、樅松、蝦夷松、

南部の平原

幌内平原

山地の產物



落葉松の森林

平野の產物

なとが繁茂して、大なる森林をなしてゐる。又、山野には、熊、駒鹿、貂などの動物が棲んでゐる。礦物は、石炭がおもなるもので、内淵川、幌内川の流域には、炭田が多い。

海岸

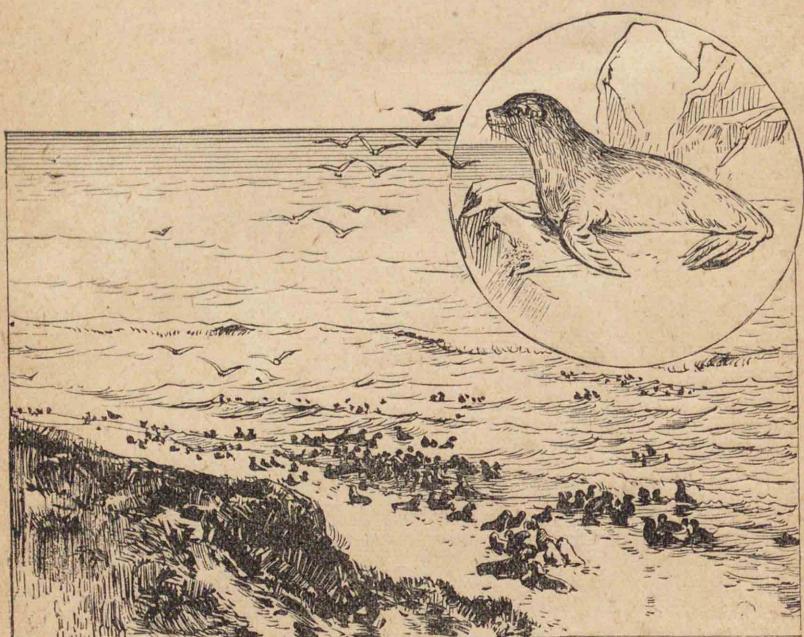
幌内平原は廣いけれども、凍土帶であるから、農產物は殆んどない。南部の平原は狭いけれども、土地が肥えてゐるから、農業牧蓄に適してゐて、馬鈴薯、豆類、甘藍等がよくできる。麥類も將來有望である。

水產物

海岸は出入が少い上に、山脈が、海岸近く聳えてゐるから、良い港や、大きい灣は少い。ただ、中知床岬と西能登呂岬との間にある亞庭灣と、北知床岬の西にある多來加灣とがあるばかりである。島には、海豹島と海馬島とがある。

けれども、海岸には、多くの漁場があつて、西海岸には、鮓、昆

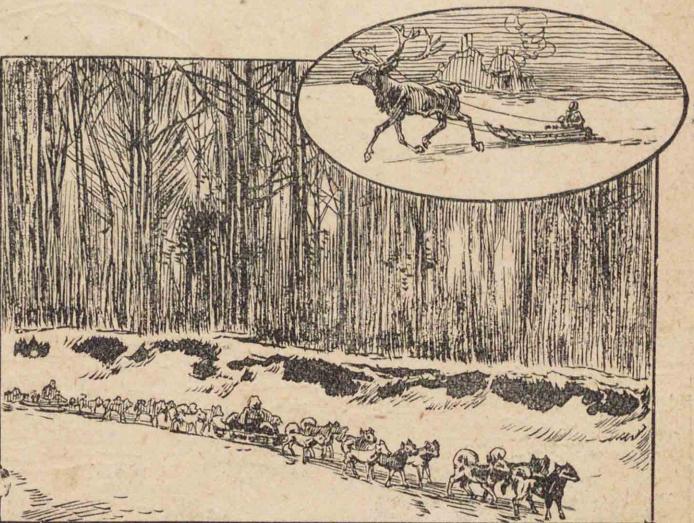
氣候



海豹島の動物

布がとれ、東海岸には鱈、鮭が多くとれる。又、海豹島には、臘肭獸、海馬島には、海驢が多く棲んでゐる。

樺太は、北にかたよつてゐるから、冬は、氣候が非常に寒い。即ち、十月頃から、翌年の四月頃までは、雪が、山野一面に積つてゐて、土人は、犬や、駒鹿に櫂



権人の土

をひかせ、その権にのつて通行してゐる。殊に寒いのは、一二月頃で、海水は皆氷結して、船のゆききもできない。けれども、五月頃になれば、急に暖かになつて、百花一時に開くの奇觀を呈する。こんなに、一般には寒いけれども、西南部の海岸は、多少溫和である。それは、温暖なる對馬海流

が、其の海岸を洗ふからである。

住民



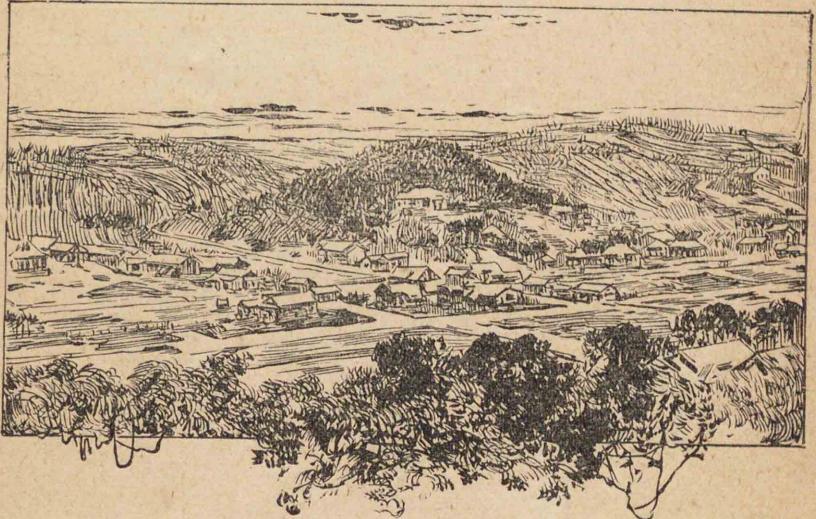
ギリヤーク人、露國人

住民は、多くは内地人で、冬になれば、少くなるけれども、夏は、四萬五千人位になる。これ等の人は、南部の平野、中部の海岸に住んで漁業をなすものが最も多い。この外に、アイヌ人、オロッコ人、ギリヤーク人、露國人などがゐる。

権太の都會は、大泊おほとまり

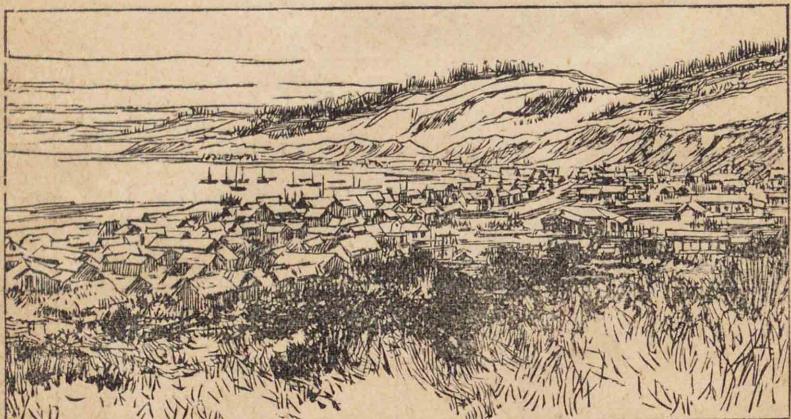
都會

大泊 豊原



豊原、眞岡などである。大泊は、夏季は内地との交通が繁くして、水産物の輸出が盛んである。大泊から北方内淵川に至る間には、所々に新開の農村がある。また、大泊と泊の豊原との間には、軽便鐵道の便がある。豊原は鈴谷川上流の平野にある小都會であるけれども、交通の要地に當りて、樺太廳守備軍司令部があるから、將來は繁華な都會

眞岡



眞岡の景

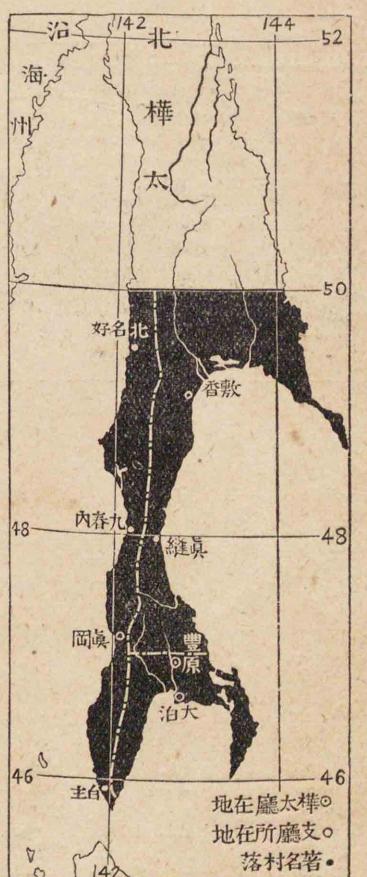
になるであらう。

眞岡は西海岸第一の港で、冬季も氷結しないから、常に内地との交通が行はれてゐる。こゝは鯨漁の中心として名高い所である。

この外、北部土人の市場である敷香、露人の住める北名好むかし、内地人の上陸した白主などがある。

我が國は、行政上、樺太を別けて三つとし、大泊、豊原、眞岡の三

行政區劃圖



支廳を置き、その上に、樺太廳を置いて、樺太全部を治めてゐる。

第二 朝鮮

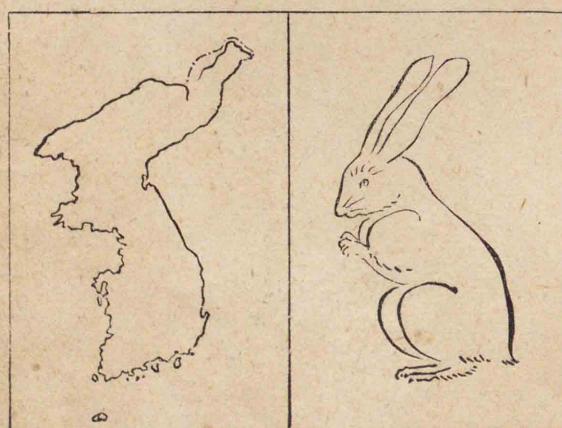
位置

朝鮮は、亞細亞大陸の東方にあつて、日本海と黃海との間に突き出でたる一大半島で、北は、滿洲、亞細亞露西亞、東は、日本海、西は、黃海、南は朝鮮海峽である。此朝鮮の形は、恰も、兎が西に向いたやうである。面積は、凡そ一萬四千方里で、我が本州よりは、少し狭い。

朝鮮の北境にある山脈は長白山脈で、東北から西南に走り

面積

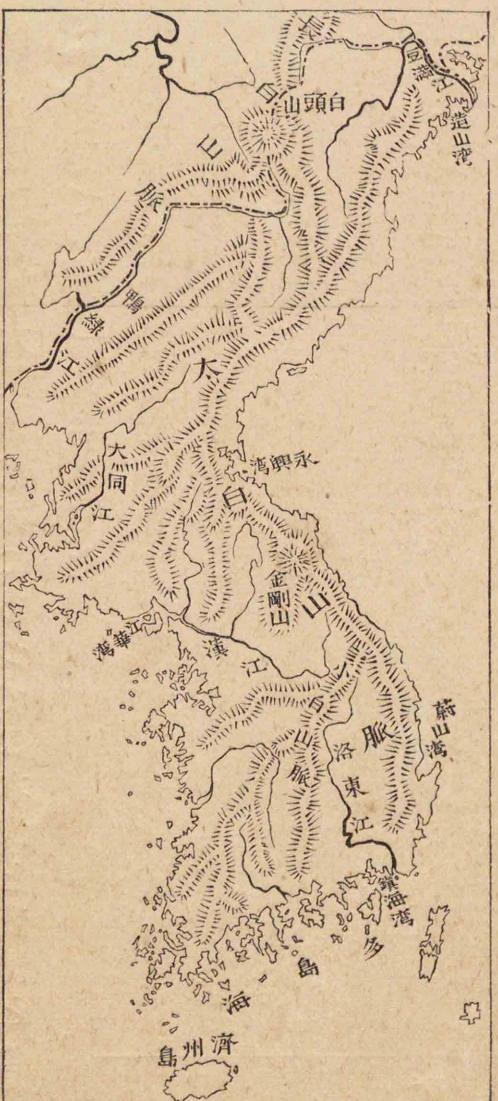
長白山脈



形の朝鮮

白頭山
てゐる。この山脈中の白頭山は、朝鮮第一の高山である。
その南方にも、長白山脈と並んで、多くの山脈がある。鴨綠

地勢圖



鴨綠江は、朝鮮第一の大河である。

太白山脈

漢江
錦江
洛東江

林產物

礦物

農產物

南部にある山脈は、太白山脈で、日本海の沿岸に沿ふて、南北につらなつてゐる。太白山脈の西の方には、平野が多くて、漢江、錦江、洛東江等の川が、この平野を流れてゐる。

南部の山地は、禿山であるけれども、北部の長白山脈には、樅、朝鮮松、杉、落葉松等が繁茂して、大森林をなしてゐる。

礦物は、砂金、銅、石炭などで、砂金は、我が金貨の地金となるのである。そして、この砂金は、北部の雲山、順安等に多く産する。

農產物は、米、麥、大豆、藥用人參が、重なるもので、米と、大豆とは、我内地に輸出し、藥用人參は、漢江流域の一部に産する韓國政府の專賣品で、清國に輸出してゐる。綿、煙草なども、試作の結果、有望である。牛、馬、豚などの養畜も行はれて、牛皮

と牛骨とは我内地に輸出してゐる。

朝鮮の海岸で、出入の多いのは、朝鮮海峡と黃海の沿岸とで、この近海には、島嶼も多。その出入の少いところは、日本海岸である。

水產物は、これまで明太魚の外に著しいものはなかつたが、近頃、我内地人の出漁するものが多くなつて、鰯、鰻、鯛などが多くとれるやうになつた。

氣候は大陸性で、寒暑の差が甚しい。冬になれば、北部の河水は、悉く氷結する。朝鮮人は、温突を設け、室内を温めて、寒を凌ぐのである。夏は暑さが烈しくて、洋蠟がとけて曲ることがある。

人口は、凡そ一千萬人で、常に長煙管を口にして、午睡をすることがある。

我が内地人の在

留者は、凡そ十萬

人である。

京城は、朝鮮の

首府で、皇居、朝鮮

總督府などがあ

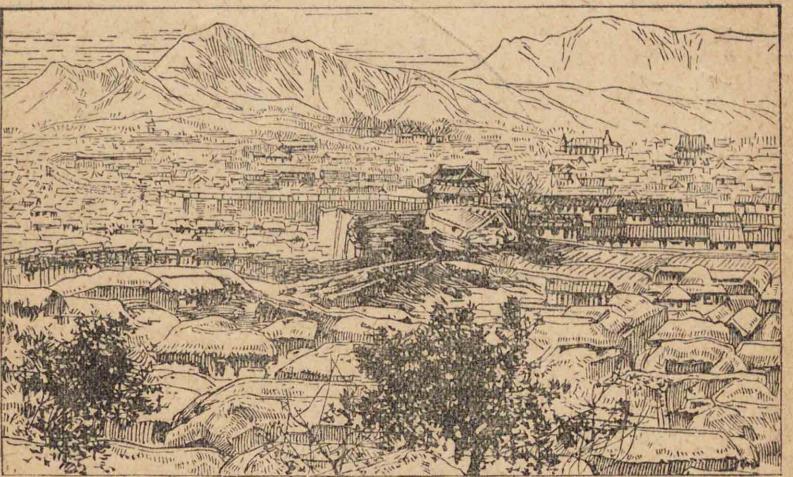
る。人口は、十萬

餘で、朝鮮第一の

都會である。その南の龍山は、京釜、京義、京仁等の鐵道の集まる所である。

仁川は、朝鮮第一の開港場で、京仁鐵道と漢江とによりて、





京 城



元 山

釜山

開城

平壤
開城

間島

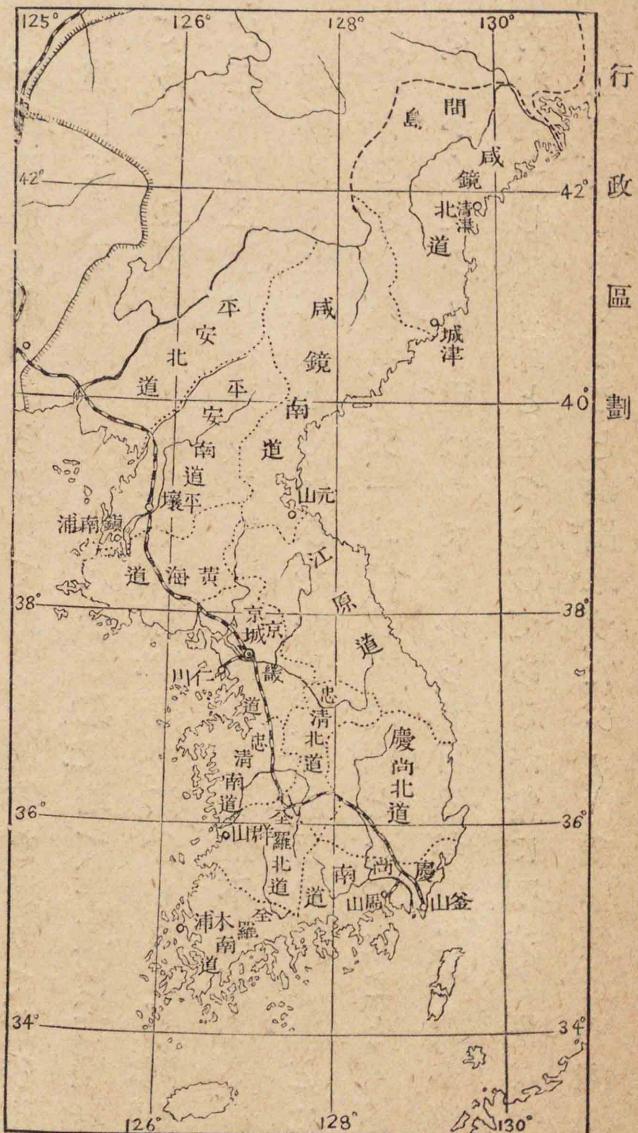
沿革

京城と相通じてゐる。釜山は、朝鮮第二の開港場で、京釜鐵道の終點である。我が門司との間には、日々汽船が往來してゐる。

京義鐵道は、龍山から起りて、開城、平壤等を通りて新義州に達してゐる。開城は、藥用人參の集散地で、平壤は、古戰場である。この外、木浦、郡山、元山、清津等の都會もある。

間島は、豆滿江上流の地方で、清國と朝鮮の境界は、不明である。

朝鮮は、もと韓國ともいひむかしは、高麗、百濟、新羅などに分れたこともある。又、一時は、我が屬國となつたこともある。かく、たびく變はつて、今から五百餘年前に、李氏が國內を統一して、韓國となつたのであるが、常に、國力が弱くて、獨立の實をあぐることが出来ず、たびく我が國に心配を



かけた。日清、日露の兩戦争も、此の國の弱いために起つたのである。然るに、日露戦争後は、我國の保護國となつて統監府を置いてあつたが、明治四十三年八月併合して、朝鮮と

稱するやうになつた。

朝鮮總督府は、京城にあつて、朝鮮を管轄し、地方を十三道に分けて、各道に長官を置いてある。朝鮮總督府の下には中樞院、取調局、地方官、鐵道局、通信官署、臨時土地調査局、稅關、專賣局、印刷局、營林廠、醫院、平壤鑛業所、勸業模範場、工業傳習所、土木會議、裁判所等がある。

第三 滿洲

満洲は、朝鮮の北に連れる地方で、清國の東北部にあたつてゐる。西南は、渤海と黃海とにのぞみ、北と東北とは、黒龍江と、その支流とによりて、亞細亞露西亞に境してゐる。面積は、凡そ、六萬方里餘で、我が國の二倍よりも、少しく廣い。人口は、凡そ一千萬人で、我が國人の在留者は、三萬人餘である。

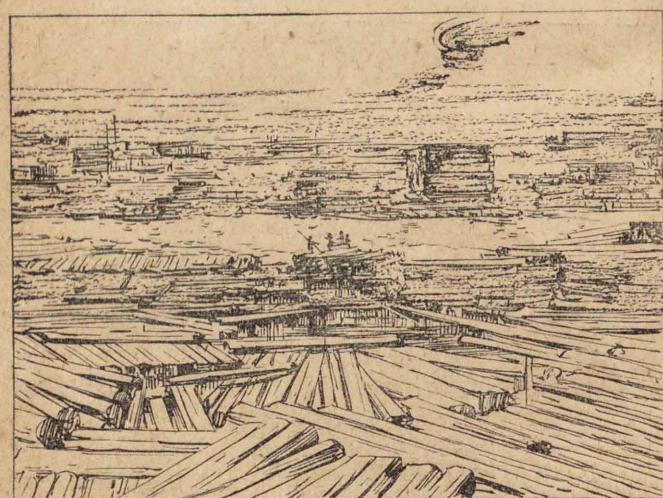
長白山脈が、西南に走りて、遼東半島の脊骨となつてゐる。西部と北部とには、興安嶺山脈がある。

河の主なるものは、亞細亞露西亞の境に、黑龍江、烏蘇里江、

松花江と遼河とがある。満洲の平野は、南と北との二部に分れて、南部の平野が、最も廣い。

林產物

農產物



材木の綠江鴨江

林產物は、長白山脈中の木材で、これは筏にくみて、鴨綠江及び松花江を下すのである。礦物は、金、鐵、石炭等で、撫順炭坑は、これを我が國が採掘してゐるのである。

満洲の平野は、廣くて、土地が、よく開けてゐるから、大豆、

海岸
水產物

高粱かうりやう、小麥こむぎ等が、多く産する。大豆は、豆油とうゆ、豆粕とうぱに製して、これを他國に輸出し、高粱は、住民の常食となるのである。家畜には、馬、驢馬、豚等があつて、一般に、これを養ふてゐる。

黃海との間に、突き出でてゐる。水產業は、まだ、進歩せぬなけれども、漁業と製鹽業とは將來有望である。

氣候

海に沿ふた所は、氣候が、溫和であるけれども、内地は、大陸性の氣候で、寒暑の差が甚しい。冬は河海も、表土も、氷結し、夏は、暑さが、烈しくて、凌ぎ難い。六七月頃は、大雨がふるけれども、冬は、非常に乾燥してゐる。

沿革

滿洲は、清朝の祖先の興つたところであるが、數十年前から、露國は、其の勢力を次第に、此の滿洲にのばして、清國が、我が國に割いた關東州を租借地となし、鐵道をしき、軍隊を遣はして、滿洲を占領せんとした。然るに、明治三十七八年戦役の結果、滿洲の殆んど全部を清國にかへし、關東州と南滿洲鐵道と、これに附屬する土地、礦山とを我が國に譲つた。けれども、北部の東清鐵道は、今も、露國の所有である。

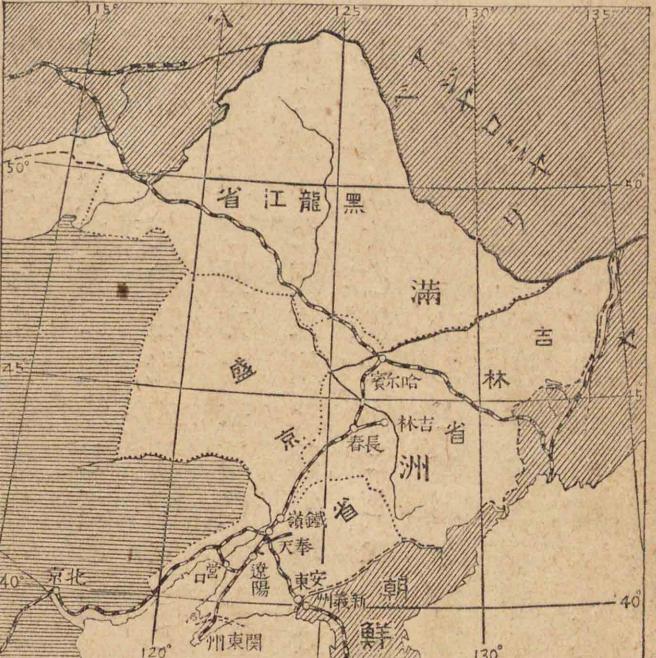
行政

第三 滿洲

二十五

清國は、滿洲を盛京、吉林、黒龍江の三省に分けて、各省に巡

滿州行政區劃圖



關東州

面積

人口

我が國は、關東都督府を旅順に置き、民政署を旅順、大連、金州に置きて、これを治めてゐる。

撫^ヌを置き、其の上に、滿洲總督を奉天に置いて、これを治めて居る。我が租借地の關東州は、遼東半島の南部で、東北の海洋島もこれに屬して居る。面積は、二百五方里で、人口は凡そ三十八萬である。



營口

南滿洲鐵道

旅順

大連

大連は、開港場で、我が南滿洲鐵道の起點で、我が門司、長崎、清國の上海等と汽船が往來してゐる。旅順は、軍港で、日清、日露の戰場として有名なる所で我が都督府、及鎮守府がある。南滿洲鐵道の支線も來てゐる。

南滿洲鐵道は、遼陽、奉天、鐵嶺等を過ぎて、長春に至りて、露國線につづいてゐる。その支線に、營口、撫順炭坑などに至るものがある。營口は、遼河の口にあつて、冬は、港内が氷結するけれども、夏は、大豆、豆粕、豆油などの

奉天
長春

哈爾賓

安東縣



輸出が盛んである。奉天は、満洲第一の都會で、長春は、日露鐵道の接續點である上に、他日、吉林に通すべきである。奉天から、東南に向つて、安東縣に至る輕便鐵道がある。安東縣は開港場で、木材、山繭の輸出が盛んである。

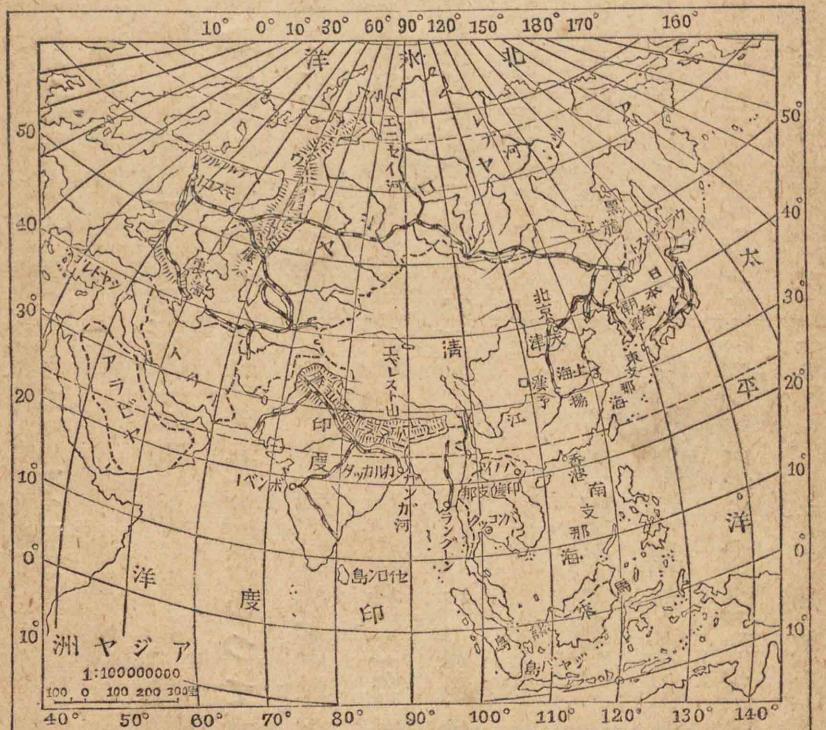
附錄 外國地理大要

第一 亞細亞洲

亞細亞洲は、東半球の北部にあつて、西は、歐羅巴と亞弗利加とに連りて、其の他の方面は、皆、海洋で、北は、北冰洋、東は、太平洋、南は、印度洋である。面積は二百八十萬方里で、世界陸地の凡そ三分の一である。人口は、八億餘で、世界人口の二分の一餘りである。

亞細亞洲には、大なる山脈が多い。ヒマラヤ山脈は、極めて、高くして、エベレスト峯は、我が富士山の二倍半もある世界第一の高山である。川の大なるは、黃河、楊子江、ガンガ河、エニセイ河などである。エニセイ河の流域から、東西に連

平野



りて、シベリヤ平原がある。この平原は、寒氣が強くて、不毛の地が多い。黄河、楊子江の流域の支那平原は、氣候もよくて、土地が肥えてゐて、產物が多い。支那平原は、炎熱多雨で、最も產物が多い。印度支那半島の海岸

地方には、多く米を産する。

清國は、其の面積が、七十萬方里で、我か國の凡そ二十四倍である。北京(人口一〇〇萬)は首府で、市街は城壁にて圍み、内城と外城とに分れ、内城には、皇居、官衙があり、外城は商業地である。鐵道は、天津及び漢口に通じてゐる。天津は、北清第一の貿易港で、北京への入口である。漢口は、楊子江中流の開港場で、茶の輸出が盛んである。上海は、清國第一の貿易港で、生糸、茶、綿を輸出し、綿糸、綿布、阿片を輸入してゐる。香港は、英國の領地で、貿易が盛んである。

シンガポールは、マライ半島の南端にある小島で、英國の海峡殖民地にある。東西交通の要地で、船舶の出入が多い。印度は、釋迦の誕生地として、名高く、カルカッタは、英領印

カルカッタ
シンガポール

北京
天津
上海
漢口
香港

アラビヤ半島
スエズ運河

ジャバ島

浦鹽斯德

度の首府で、阿片、茶等の多く産するガシガ河流域の入口にある。ボンベーは、西海岸にありて、綿の輸出で名高い。ボンベーから、西に航して、アラビヤ馬にて名高きアラビヤ半島をめぐり、スエズ運河を過ぎて、歐羅巴に入る。

和蘭に屬する馬來諸島の首府は、ジャバ島にあつて、バタビヤといふ。ジャバ島は砂糖の製造が盛んである。

浦鹽斯德は、露西亞の軍港で、又商港である。我が敦賀、長崎と汽船が往來してゐる。此の地から起つた鐵道は、滿洲に入りて、我が南滿洲鐵道に連り、それから、シベリヤ平原の南部を通りて歐羅巴に達してゐる。

第二 歐羅巴洲

位置

面積
人口

山脈

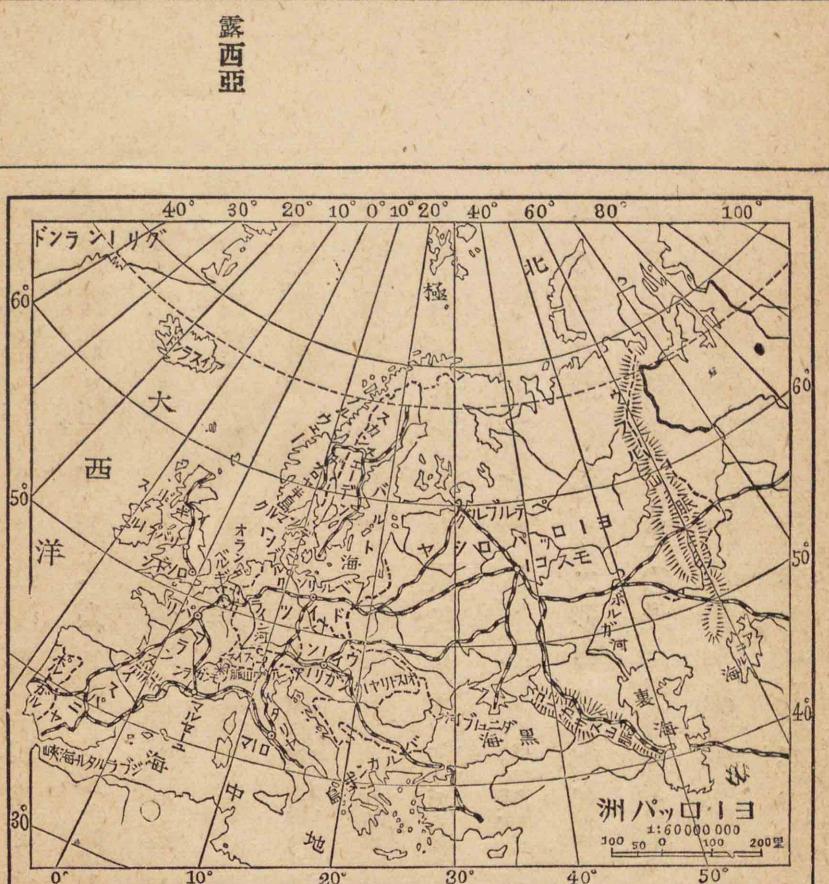
河流

平野

歐羅巴洲は、亞細亞洲の西にありて、三方は、海である。西の海は、太西洋で、南に入り込んでゐるのは地中海、黒海で、北部に入り込んでゐるのは、北海、バルト海で、北は北冰洋である。面積は、亞細亞洲の四分の一にも達しないけれども、人口は、亞細亞洲の二分の一で、土地の割合に住民の多いことは、世界第一である。

地中海方面は、山脈多き地方で、その山脈の大なるものは、アルプス山脈である。此の山脈中のモンブランは本洲第一の高山である。アルプス山脈及び、其の近傍から發する河が多くある。その中にて、最も大なるものは、ダニューブ河である。

平野には、佛蘭西平原、獨逸平原、露西亞平原等廣き平野が



露西亞

ありて、土地がよく開けて、農產物が多い。又、西北部は、鐵、石炭を多く産して、工業が盛んである。

本洲には、英吉利、佛蘭西、獨逸、露西亞等、國勢の盛んな國が多い。露西亞は、其の面積が、三十三萬方里で、我が日本の十一倍である。麥、麻、甜菜等の農

白耳義

英吉利
佛蘭西
獨逸

產物が多い。ペテルブルグは首府で、モスコーオは舊都である。獨逸の面積は、三萬五千里で、鐵、石炭、甜菜、麥酒、砂糖等の產物が多い。首府ベルリンは、世界學術の中心で、ハノーフルグは、獨逸第一の貿易港である。佛蘭西は、其の面積三萬五千里で、葡萄、葡萄酒、絹織物の產物が多く、首府パリは、世界流行の中心で、マルセイユは、此の國第一の貿易港である。英吉利の面積は、二萬方里で、我が國よりも狭いけれども、その領地は、各洲にありて、本國の百倍である。主なる產物は、鐵と石炭とで、工業が盛んであるから、綿布、鐵器が多く産する。海軍は、世界第一で、首府ロンドンは、世界第一の都會で、リバーブルは、此の國第二の貿易港である。白耳義の面積は、一千九百方里で、我が九州よりも狭い。鐵、石炭が

和蘭

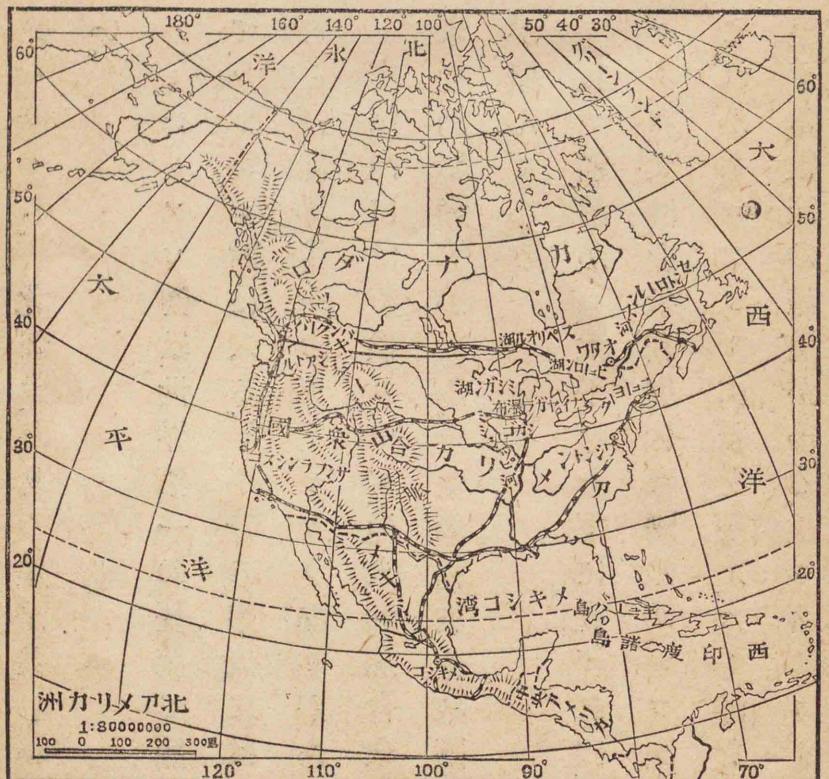
主なる產物で、ブルツセルは、首府で、アンベルスは、我が歐洲航路の終點である。和蘭の面積は、二千一百方里で、海面よりも低い所が多い。領地は、本國の凡そ、六十二倍である。首府ハーベには、萬國仲裁裁判所がある。この外、時計有名なるスイス、名所舊蹟の多い伊太利等がある。

第三 北亞米利加洲

北亞米利加洲は、西半球の北部で、南亞米利加洲とつづいて、太平洋と大西洋との間にあつて、北は北氷洋、南は、メキシコ湾である。メキシコ湾の東南には、西印度諸島があり、北氷洋と、大西洋との間には、世界第一の大島、グリーンランドがある。面積は、凡そ、亞細亞洲の二分の一で、人口は、其の八分の

一である。

地勢



西部には、ロッキー山脈が、南北に連り、東岸にも、山脈があつて、中部は廣き平野である。南部は、氣候が、溫和で、土地が肥えてゐるから、小麥、綿、玉蜀黍が产する。その上、鐵石炭石油、金、

銀も産する。北部は、寒暑の差が甚しいけれども、森林が多い。

川 ミシシッビ
ミシシッビ河は、世界第一の長流で、西部の山地から、流れ
て、メリシコ灣に入る。平野の中央には、多くの湖水がある。
ここに、世界第一のナイヤガラ瀑布がある。

諸國 ナイヤガラ
瀑布
諸國

本州内には、英領カナダ、亞米利加合衆國、メリシコ、中央亞
米利加諸國等がある。亞米利加合衆國と、カナダとは、國勢
が盛んである。

我が、横濱から、太平洋を東に航すれば、英領カナダのバン
クーバ、又は、亞米利加合衆國のサンフランシスコに至る。
これから、ロッキー山脈を越え、太平洋を過ぎて、大西洋岸に
達する數條の鐵道がある。ニューヨークは、世界第二の大

ク
ニューヨーク

バンクーバー
サンフランシスコ

ワシントン

都會で、ワシントンは、米國の首府である。

第四 南亞米利加洲

南亞米利加洲は、北亞米利加洲よりも、其の廣さは少し狭
くして、人口は、甚だ少い。西部には、アンデス山脈があり、東
部にも、山脈があつて、其の間は、廣い平野である。アンデス
山脈のアコンカグア山は、世界最高の火山で、アマゾン河は、
世界第一の大河である。

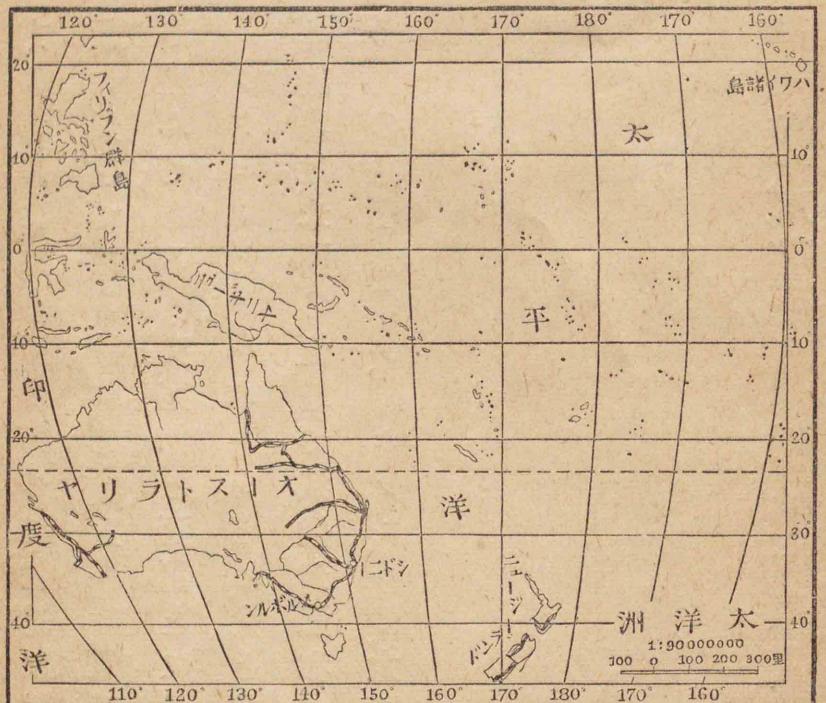
土地の大部は、熱帶中にありて、氣候は、一般に暑い。アマ
ゾン河の流域は、降雨が甚だ多い。アンデス山脈中及び南部の海岸は、氣候が、溫和で、珈琲、砂糖等が多く產する。

本洲には、多くの國があるけれども、我が國と關係ある國

諸國



んである。ブエノスアイレスは、アルゼンチンの首府で、羊毛、凍肉を輸出する。



第五 大洋洲

大洋洲は、馬來諸島の南にあるオーストラリヤと、東方太平洋面積が、アジア洲の凡そ、六分の一で、人口は、我が國の十分の一にも達しない。オーストラリヤの地勢は、四

地勢
氣候

方の海岸には、山脈があつて、内地には、廣き沙漠がある。氣候は、炎熱であるけれども、東部は、溫暖で、羊、牛などの牧畜業が盛んである。又、東部と西部とには、多く金を産する。

シドニーとメルボルンとは、金と羊毛とを輸出する。布娃諸島は、米國の領地で、氣候が溫和で、甘蔗の栽培が盛んで、砂糖の輸出が多い。ホノルルは、太平洋交通の要港である。

尋常小學 樺太滿洲朝鮮地理 附外國地理大要

明治四拾參年拾月貳拾日印刷
明治四拾參年拾月廿三日發行

尋常小學樺太滿洲朝鮮地理

實價金六錢

寶文館編輯所編纂

發行者

東京市日本橋區本石町三丁目
青木弘吉



不許

發兌

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區備後町四丁目

寶文館

館

東京高等師範學校訓導
北垣恭次郎著

東京高等師範學校訓導
北垣恭次郎著

東京高等師範學校訓導
萬福直清著

教育研究會編

● 學
● 國定準據
● 小學地
● 理教材
● 小學地
● 理教材
● 亞細亞洲大洋洲
● 內外歷史年表
● 枝折

高尋郵定洋郵定上郵定上
各等常前稅價裝稅價製稅價製
後後期各貳貳拾壹八壹壹八
各貳貳錢折折錢冊錢圓冊錢冊

広島大学図書

2000015937

